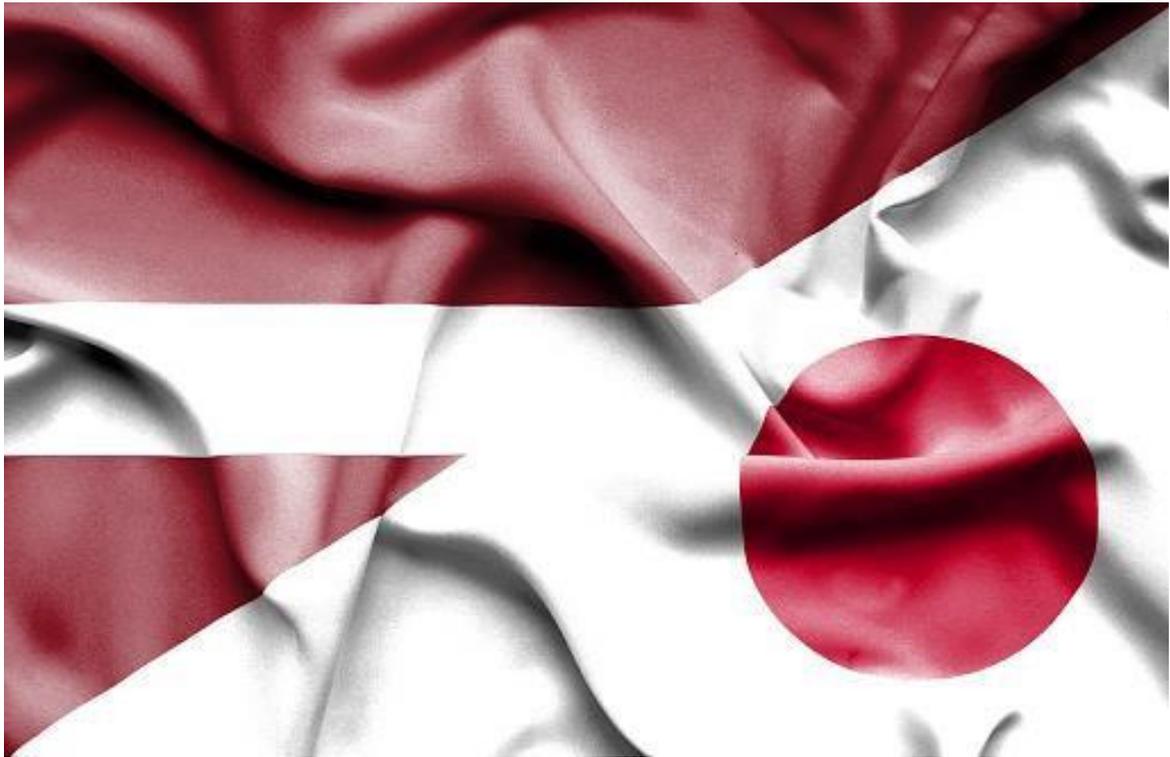


# ラトビアと日本



ルサコフ・アンドレイ

# ラトビアの有名な日本人

ラトビアで有名な日本人は小島秀夫である。小島秀夫は世界に有名な日本のゲームデザイナーであるが、私の国でもよく知られている。ゲームをしない人にも、この名前はよく知られている。



小島秀夫は生まれも育ちも東京である。1986年に23歳でコナミに勤め始め、1年後に「メタルギア」というビデオゲームを発売した。「メタルギア」は彼の最も有名で最も成功した作品である。今でも、世界中の人々がこのシリーズのゲームをプレイしている。「メタルギア」シリーズの最後のゲーム2018年に発売された。

小島秀夫は2015年にコナミを辞め、自分のゲームスタジオを作った。このスタジオの最初のゲーム「デス・ストランディング」であった。小島秀夫のゲームがラトビアで人気があるのは、珍しいプロットや面白いゲームの世界があるからである。「デ



ス・ストランディング」は2019年のベストゲームディレクションを受賞した。そのため、このゲームは日本よりも他の国でさらに有名になった。

ビデオゲームに少しでも興味のある人は小島秀夫のゲームをしたほうがいいと思う。それは本当に面白い経験になるだろう。

参考：<http://www.kojimaproductions.jp/en/>



# ラトビアと日本の違い

日本とラトビアは全く異なるとおもう。これは様々なところで現れる。  
例えば、人間関係である。

同僚や友人や恋人との付き合い方は全く異なる。日本ではよく人に贈り物をするのに対し、ラトビアでは入学などのお祝いや病気などのお見舞いにたいてい何も送らない。プレゼントはお正月や誕生日ときに送られる。

そして、たいていそれは家族や親友から贈られたプレゼントである。ラトビアには年賀状や中元などもない。これは少し悲しい一方で、便利だと思う。例えば、日本では年賀状をもらうのはうれしいが、困る事もある。それは出さなかった人からもらったときである。



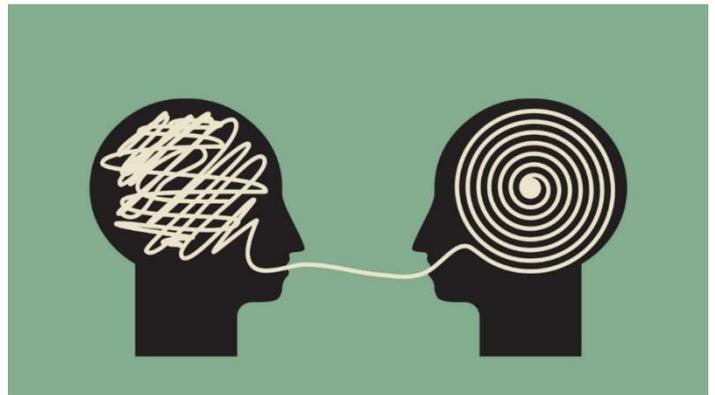
ラトビアには男性のお祝いがあまりない。2月の「バレンタインデー」、3月の「国際女性デー」、5月の「母の日」しかない。これらの日に男性は女性のプレゼントを贈る。プレゼントは花やチョコレートである。



# 日本語の翻訳の問題

日本語を他の言語の翻訳するとき、翻訳者は様々な困難に直面している。現在、ラトビア人などは日本のゲームやアニメ興味を持つようになった。そのため、適切な翻訳者が必要である。では、なぜ日本語は翻訳しにくいのだろうか。

まず、例えば、ロシア語と日本語を比べると、日本語のほうが難しいと考えられている。確かに日本語は漢字を使わない国の人にとって非常に難しそうである。しかし、漢字が一番の問題ではない。それは考え方である。日本語は廃コンテキスト言語として知られ



ている。これは話す時に多くの事が言葉にして言わないかもしれない事を意味する。こ

の特徴は日本語の翻訳を難しくする。ロシア語にはそのような問題がない。

次に、日本語にはことわざや擬態語や擬音語があり、特に話す時に出ている。これらは英語やロシア語などにもあるが、ほとんど誰も使わない。そのため、これらの使い方に慣れるのは難しい。

このように、多くの事が日本語の翻訳を難しくしている。そのため、いい日本語の翻訳者がいつでも必要である。

